

株主の皆様へ

「今回の資金調達に関して」

拝啓、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日お知らせしましたとおり、昨今の当社グループを取り巻く事業環境、当社グループの財務・経営状況、並びに当社株価の状況を踏まえ、総額約11億円の資金調達を行うことを当社取締役会にて意思決定いたしました。この意思決定の背景は以下の通りです。

まず、当社グループの状況としましては、先月5日発表の第2四半期決算短信及び先月25日開催の中間決算説明会にて、公表及びご説明しておりますとおり、グループ全体としては前期比で増収を達成し、当期予算及び中経営計画実現にむけてグループ社員一丸となって取り組んでいるところです。

また、当社グループは経営課題であった黒字転換を前期に実現することができました。これは、株主の皆様のご理解及びご支援のもと、事業基盤確立に必要な研究開発資金や大規模設備投資資金について株式市場からの資金調達が行えたことが大きな要因です。黒字転換により、今後、研究開発資金及び設備投資資金については、グループの期間利益及び銀行借入等で賄う方針であり、更なる事業規模・利益の拡大を進めていく所存です。

一方で、我々の事業環境を見ますとジェノミクス事業の主たる顧客が属する基礎研究分野に関しては公的予算の縮小・削減傾向が継続しており、CRO事業及び先端医療事業の主たる顧客である製薬企業においても特許切れ問題から開発予算が回復する兆しは見えておりません。また、医療機関を通じた一般患者様を対象とする病理診断事業においても、国の社会保障費抑制の影響を受けて、競合各社との厳しい価格競争にさらされております。

このように、当社グループが有する各事業セグメントは厳しい経営環境に属しており、更なる発展を遂げるために、より強い事業体の確立が必要です。

私は、当社グループの強みは、最先端技術の保有・開発能力のみでなく、基礎研究から非臨床・臨床及び診断までカバーできる企業グループであることと、これらを融合させ、運営できていることにあると考えております。一昨年グループ会社化しました、新薬リ

サーチセンター及びジェネティックラボ社はグループ化後1年弱で黒字転換、昨年は2社ともグループ収益の柱に成長しました。

私は、この経験を活かし、我々バイオベンチャーにとって、厳しいこの事業環境こそを逆に好機と捉え、技術的強みと特異性をもつバイオベンチャーとの関係及び連携の強化を推進し、双方の企業価値・成長力を高める施策を実現したいと考えております。そのため、今回調達予定の約11億円については、その全てをこれらに充当する考えです。

なお、今回の資金調達にあたっては、経営者として、当社グループの将来性を確信していること、また、その責任を明確にしたいという考えから、増資の一部引受をすることにいたしました。

株主の皆様方に置かれましては、当社グループの更なる成長をご期待いただき、引き続きご支援及びご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

敬具

株式会社トランスジェニック

代表取締役社長

福永健司